

羽村市の土地区画整理事業 ～土地区画整理事業ってナニ？②～

羽村市の土地区画整理事業の状況や事業の仕組みなどについてお知らせします。

問合せ 区画整理課 280

■青梅羽村土地区画整理事業（昭和38年度～41年度）

羽村市で最初に施行された土地区画整理事業です。羽村市（当時羽村町）は、昭和37年に首都圏整備計画に基づく、市街地開発区域の指定を受けました。この計画に基づき、青梅羽村地区（青梅市の一部および羽村市栄町一～三丁目）、面積約166.20haの区域で行った事業です。

工業団地（現在の栄町工業団地）を作り、また、小作駅周辺の地区として、都市計画道路や公園、上下水道施設等の整備拡張を行い、土地利用の増進と職住近接のまちづくりを目指しました。この事業は、日本住宅公団（現UR都市機構）が行いました。

用語説明 土地区画整理事業

土地区画整理法に基づき、都市計画で決めた区域内の土地で、計画的に公園等を配置し、良好な住環境を整備するための手法。土地の形状の整理、道路の拡幅、公園や広場の新設、上下水道や歩道などの生活インフラの整備をし、災害に強く安全・安心で暮らしやすいまちづくりを目指す事業です。



▲羽村市の土地区画整理事業（市公式サイト）



▲青梅羽村土地区画整理事業の概要図



▲区画整理前の栄町地区（昭和30年代）



▲区画整理後の栄町地区（現在）

はむらん コミュニティバス「はむらん」運行見直し

「土・日曜日、祝日、年末年始」の運行を取り止めます



バス業界では、深刻な運転手不足により全国的に路線バスの減便・廃止が相次いでいます。

市内を循環するコミュニティバス「はむらん」の運行事業者である西東京バス㈱も同様に、運転手不足の状況にあります。今後も「はむらん」の運行を継続するには、運転手不足への対応と利用状況に合わせた効率化を図る必要があるため、運行の見直しを行います。

利用者の皆さんにはご不便をおかけしますが、「はむらん」の持続可能な運行体制を確保するため、ご理解、ご協力をお願いします。



問合せ 都市計画課 276

運行見直し

期 日 4月1日(水)から（予定）

※見直し日は確定次第、広報はむら・市公式サイト・「はむらん」車内でお知らせします。

内 容

「はむらん」全4コース（羽村東コース、羽村西コース、小作コース、羽村中央コース）の、土・日曜日、祝日、年末年始の運行取止め

※月～金曜日（祝日を除く）は全4コース、現行のルート・ダイヤで運行します。



子どもの

居場所紹介

⑤

こどもまんなか社会の実現に向け、市内の子どもたちが安心して利用できる居場所・子ども食堂などをシリーズで紹介します。

問合せ 子ども政策課 261

団体名 はむらプレーパークの会

問合せ Eメールで ✉ hamurappa@gmail.com

※ウェブサイトもあります。

<https://hamurappa.wixsite.com/home>

はむら1日プレーパーク

実施日時 年に4回程度。次回は3月15日(日)

※雨天時は3月22日(日)

会 場 堰下レクリエーション広場

参 加 費 無料

※保険加入・運営サポートのため1人50円以上のカンパをお願いしています。



お話してくれた方

はむらプレーパークの会
代表 永川 みつ子さん



▶子どもの居場所について（市公式サイト）



はむらプレーパークの会は「自分の責任で自由に遊ぶ」のプレーパーク精神を大切に、子ども自身がつくることができる自由なあそび場や、自分らしく過ごせる居場所を提供したいという有志が集まり、2016年4月市民によるボランティア団体として設立、活動が始まりました。

子どもたちにはもっと自由で、もっとのびのび遊んでほしい、そんな願いのもとプレーパークを開催してきました。ルールや常識にとらわれがちな毎日のなかで「やりたい!」を素直に表せない子どもたち。プレーパークでは「やりたい!」を最大限かなえるために、大人も子どもも一緒になって考えていきます。ですから、危険がないかぎり大人はできるだけぐっとこらえて指示をせず見守ります。あなたの、君の、「やりたい!」を見つけにきませんか？

これまでチャレンジしてきたこと 巨大ハンモック、ターザンロープ、モンキーブリッジ、焚火で焼き芋やマッシュマロ・ウィンナーを焼く、楽器遊び、バウムクーヘンを焼く、パフェづくり、流しそうめん、段ボールハウスづくり、段ボールそり遊び、スプラトゥーンごっこ、コマまわし、木工、水でっぽう、ミニプール、ウォーターすべり台、トランポリン、虫さがし、自転車レース、アクセサリ屋さん、魚釣りゲーム、ミニバザー、ブランコ、宝さがしゲーム、空気砲、缶でごはんを炊く、ネイル屋さんなど